

# 令和3年度授業改善推進プラン（調査結果分析シート）

西東京市立上向台小学校

## ●全国学力学習状況調査（小学校第6学年・中学校第3学年）

	課題が見られた問題の概要	正答率	調査結果を踏まえた成果	調査結果を踏まえた課題
国語	<知識・技能> (1) 言葉の特徴や使い方に関する事項 3三(1)ウ丸山さんの【文章の下書き】の中の部ウを、漢字を使って書き直す(つみ重ね)	47.2%	「話すこと・聞くこと」に関する項目のうち、目的や意図に応じた資料を使って話すことができるかどうかをみる問題の正答率は89%であった。このことから、聞き手に対して自分の考えを分かりやすく伝えるために適切な資料を選び、表現の仕方を工夫しようとする事ができていると考えられる。また、「読むこと」に関する項目のうち、文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握することができるかどうかをみる問題の正答率は、85%であった。事実と感想、意見などとの関係を押さえ、文章全体の構成を捉える力が身に付いてきている。	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことや、文の中における修飾と被修飾との関係を捉えることが十分にできていない。短い文章を書く機会を増やし、自分が書いた文章を読み返す中で、漢字の正しい使い方を習得できるようにしたり、修飾語を用いて文を詳しくしたりする活動を積み重ねていく。また、文章と図表などを結び付けて必要な情報を見付けたり、中心となる語や文を見付けて要約したりすることに課題が見られる。目的意識を明確にし、文章と図表の関係を捉えながら読んだり、目的に応じて必要な情報を見付け、要約する学習を丁寧に行っていく。
	<知識・技能> (1) 言葉の特徴や使い方に関する事項 3三(2)オ丸山さんの【文章の下書き】の中の部オで、波線部「すぐに」がくわくしている言葉として適切なものを選択する	43.3%		
	<思考・判断・表現> C読むこと 2三 面ファスナーに関する【資料】を読み、メスラルは何をヒントに、どのような仕組みの面ファスナーを作り出したのかをまとめて書く	39.4%		
	<思考・判断・表現> C読むこと 2四 面ファスナーに関する【資料】を読み、面ファスナーが、国際宇宙ステーションの中でどのように使われているのかをまとめて書く	34.6%		
算数・数学	<知識・技能> C変化と関係 1(3) ㉗と㉘の二つの速さを求める式の意味について、正しいものを選ぶ	50.4%	全国正答率と比較して、「A数と計算」領域では約5%、「C測定」領域では約8%正答率が高くなっている。「問題解決のために必要な数値を選び、読み取った数値を適切に用いて式に表すこと」や、「身の回りの事象の特徴を量に着目して捉えること」ができていると考えられる。また、「Dデータの活用」領域において、棒グラフから数量を読み取ることができるかどうかをみる問題の正答率は99.2%、データを二次元表に分類整理することができるかどうかを見る問題の正答率は78.7%であった。グラフや表の意味を理解し、正しく読み取ることができていることが分かる。	「B図形」領域では、図形の面積の求め方についての定着が不十分である。公式をただ覚えるだけでなく、等積変形をしたり、合同な図形を組み合わせて変形させたりすることによって、図形の構成の仕方を捉えることができるようにしながら、面積を求める公式の意味を十分に理解できるようにしていく。「Dデータの活用」領域では、データの特徴や傾向を読み取る力や設定した問題に対して集めるべきデータを判断する力に課題がある。自分たちで必要なデータを収集し、目的に応じて適切なグラフを選んで表したり、データをもとに分析、考察したりする活動を取り入れていく。
	<思考・判断・表現> B図形 2(3) 二等辺三角形を組み合わせた平行四辺形の面積の求め方と答えを書く	49.6%		
	<思考・判断・表現> Dデータの活用 3(4) 帯グラフから、割合の違いが、一番大きい項目を選び、その項目と割合を書く	54.3%		
	<思考・判断・表現> Dデータの活用 3(5) 5年生と6年生の読みたい本と、多くの5年生と6年生に読まれている本を調べるために、適切なデータを選ぶ	74.8%		